



おじま まさみ
小島 正美 さん(柳)

筑西市の知られざる魅力が満載です。ぜひ市外の人にも紹介したいと思いました。

「秋晴れに 響き渡るよ 汽車の音」
これは、郷土の魅力詠む「筑西ふるさとカルタ」の読み札のうちの一枚。今回は、筑西の魅力がたっぷり詰まった筑西ふるさとカルタを製作した、下館筑西報徳壹圓塾のみなさんにお話を伺いました。

カルタ遊びで楽しく市の魅力を知ってほしい

筑西ふるさとカルタには、市の特産品や歴史上の人物、郷土の行事などが「あ」から「ん」の46首にわたって詠まれています。製作した経緯について塾長の小石川功さんは「日本

カルタで市の魅力を再発見 筑西ふるさとカルタ



各地に郷土カルタがあり、近隣では桜川市、結城市、下妻市などでも製作されています。筑西市にもほしいという声を聞いたことが作ったきっかけです」と教えてくれました。また、小中学生などの子どもたちに市の魅力を伝える手段として、カルタがぴったりだったことも理由の一つだそうです。

製作過程にはさまざまな苦労もあったようで、副塾長の上野裕さんは「塾員から集めた候補は最初280首以上あり、そこから46首に絞り込むのに苦労しました。取り札のイラストは市内中学校の美術部に



中学生が描いたイラスト

驚く工夫は、読み札を50音順に並べれば市内を反時計回りに一周できること。多少例外はありますが、下館駅から「あ」が始まり、関城、明野、協和地区の順番で読み札が作られています。地図を片手に札に書かれた

地図を片手に観光できるのは筑西ふるさとカルタオリジナル

依頼することで、描きながら市の魅力を知ってもらいました」と話します。塾員の石川剛さんと伊東英明さんも「地区ごとに読み札の数や、取り上げる出来事、特産品を調整したり、小学生にも伝わる文にしたりするのが本当に大変でした」と完成までの長い道のりを振り返ります。



付録の地図には、読み札に対応した場所が記載されている。

取材を終えて

塾員のみなさんの創意工夫のおかげで、ほかに類を見ないすばらしい郷土カルタができたのだなと感心しました。1月には小中学生を対象に、筑西ふるさとカルタ競技大会が開催されます。子どもたちが夢中になつて筑西ふるさとカルタに取り組む様子も楽しみです。

「筑西ふるさとカルタ販売所」

道の駅グランテラス筑西(川澄1850)
カフェブリーズ(丙372)
諏訪書店(丙123)



左から小石川塾長、石川さん、伊東さん、上野副塾長。製作には2年の歳月がかかったそう。